

2012年6月21日(木)

アジア各国の電気通信技術者・事業従事者に 光アクセス施工の技術者育成に関する講義を実施

株式会社協和エクシオ

株式会社協和エクシオ(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石川國雄)では、このたび、当社も会員となっている、アジアを中心とする発展途上国の電気通信関係者の人材育成などを実施する特定非営利活動法人、BHN テレコム支援協議会* (所在地：東京都台東区、会長：桑原守二) が実施する「第14回 BHN 人材育成プログラム」の後期研修の一環として、6月20日、当社の中央技術研修センターにおいて、当社の社員が講師となりアジア8カ国の研修生8名に光アクセス施工の技術者育成に関する講義を実施しました。

「BHN 人材育成プログラム」は、BHN テレコム支援協議会がアジアを中心とする発展途上国や新興国の将来の情報通信技術 (ICT) 事業を担う若手や中堅の人材を対象に、本プログラムを通じ ICT に関する基本から最先端までの知識を習得し、さらにリーダーに必要な ICT 以外の幅広い関連知識を取得してもらい、それぞれの国の発展に寄与するバランスの取れた人材を育成するために、日本の進んだ技術と経験を活かした研修の機会を提供することを目的に 1998 年から実施しているもので、今回の研修を含めると、受講者は延べ 13 カ国、105 名に達しています。

14 回目を迎えた本プログラムは、バングラディッシュ、カザフスタンなどの 8 カ国から 8 名が参加。研修は前期、後期の 2 回に分けて実施され、今回の当社の中央技術研修センターでの研修は、約 1 カ月にわたり実施している後期研修の一環として行われました。

会場となった中央技術研修センターは、当社の光アクセス施工をはじめとする情報通信ネットワーク構築に関する技術者育成の中核拠点で、新入社員から現場で活躍する社員、グループ会社社員等に対し、基礎知識に関する講義から施設内での技術訓練、さらには屋外に設置した設備を使用した実戦訓練まで、アクセス工事、移動通信工事等に関するあらゆる施工技術を総体的に習得できるプログラムを実践しています。また最近では、当社社員の技能五輪国際大会での活躍もあり、増加する海外からの視察要請にも積極的に対応しており、「BHN 人材育成プログラム」の研修の受け入れも、今回で 5 回目になります。

当日は、当社の光アクセス施工の技術者育成に関する講義を実施した後、センター内の各施設を見学。また施設見学と合わせて、当社社員による光ファイバケーブルの融着接続、心線収納のデモンストレーションに加え、研修生の体験実習も実施しました。

当社では、光アクセス工事をはじめとする情報通信ネットワーク構築分野において、今後もさらなる技術力の強化・向上ならびに人材育成を図るとともに、国内さらにはアジア各国の情報通信産業の発展に積極的に寄与していきたいと考えています。

※特定非営利活動法人 BHN テレコム支援協議会（認定 NPO 法人）

NTT などの情報通信産業の関係者により、「情報通信分野で培われた技術を生かし、発展途上国の BHN（Basic Human Needs）達成に向けての自助努力を支援する」目的で、1992 年 9 月に設立。発展途上国の地域開発協力と医療施設への支援（テレコム人道支援）や大規模災害の被災者や紛争による難民への緊急支援、さらには発展途上国電気通信関係者の人材育成などを実施している。2012 年 6 月現在、法人会員 64 社、個人会員 450 名。所在地：東京都台東区上野 5-24-11 NTT 上野ビル。会長：桑原守二（前 BHN テレコム支援協議会 理事長、元 NTT(株)代表取締役副社長）。

当社は、1997 年から法人会員となっています。



写真は、講義の様子



写真は、体験実習前の説明の様子

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 協和エクシオ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20 総務部 CSR・広報室

電話:03-5778-1075(直) FAX:03-5778-1228

担当:高柳 圭伸